

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

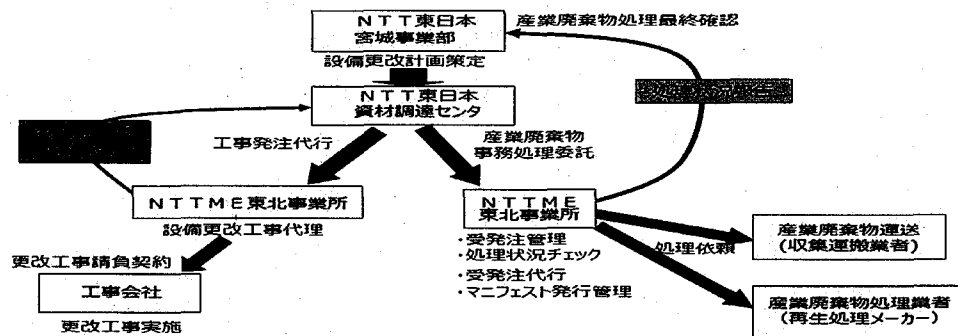
産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 30 日	
岩手県知事 達増 拓也 殿	
提出者	
住 所 宮城県仙台市若林区五橋3-2-1	
氏 名 東日本電信電話株式会社 宮城事業部 執行役員 宮城事業部長 須藤 博史	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 022-269-3066	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	東日本電信電話株式会社 宮城事業部 岩手支店 県内各所 (盛岡市を除く)
事業場の所在地	岩手県盛岡市中央通1丁目2-2 県内各現場 (盛岡市を除く)
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	通信業 (G37)
② 事業の規模	資本金3,350億円
③ 従業員数	4,700人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>・撤去通信設備の更改作業で発生した撤去品を、産業廃棄物処理事業者へ運搬及び原材料リサイクル及び処理を委託。</p> <p>通信設備工事会社 廃棄物収集運搬業者 産業廃棄物処理業者</p> <p>更改工事 (産業廃棄物発生) → 産業廃棄物運搬 → 再生処理</p>

(日本産業規格 A列4番)



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		「第2面のとおり」	
	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	
	（これまでに実施した取組）  ・リサイクルの促進 撤去コンクリート電柱などがれき類、撤去通信設備、鋼管柱などの金属屑類など、リサイクル可能な廃棄物は原材料化を促進させ、最終処分量の削減を図っている。			
②計画	【目標】		「第2面のとおり」	
	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	
	（今後実施する予定の取組）  ・現状を維持し、管理徹底を図る。			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・更改作業ごとに分別、再資源回収を実施し産業廃棄物の削減を図っている。 産業廃棄物となるものも区分ごとに分別を実施している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状を維持し、管理徹底を図る。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】			「第2面のとおり」
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NTT-ME 東北事業所において産業廃棄物処理業者との契約を代行しているが、産業廃棄物収集運搬、処分を有資格者と契約しているか、年一回以上確認を実施。</li> <li>・廃什器類など支店が直接契約する場合は、資格のある産業廃棄物収集運搬業者、処理業者と契約書を交わし、また処理場を年一回以上確認している。</li> </ul>			

## (第5面)

②計画	【目標】			「第2面のとおり」	
	産業廃棄物の種類				
	全処理委託量			t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量			t	t
	再生利用業者への 処理委託量			t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量			t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量			t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	・現状を維持し、管理徹底を図る。				
※事務処理欄					

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

請  
じ  
ま  
と。

- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

中  
間  
間

- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

量  
行  
収  
あ  
へ

- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

と  
の  
入

- 7 ※欄は記入しないこと。

(産業廃棄物の種類: 全体 )

排出した産業廃棄物の合計量を記載してください。

不要物等発生量

有償物量

数値は、  
上段: 前年度実績値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	1,475.10	1,473.00
②+⑧自ら再生利用を行った量		
⑤自ら熱回収を行った量		
⑦自ら中間処理により減量した量		
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		
⑩全処理委託量	1,475.10	1,472.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	333.19	332.00
⑫再生利用業者への処理委託量	1,475.10	1,472.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

自ら直接 再生利用する量
②
t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量
③
t

自ら中間処理 する量
④
t

④のうち熱回収 を行う量
⑤
t

自ら中間処理した 後の残さ
⑥
t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦
t

自ら中間処理した後 再生利用する量
⑧
t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量
⑨
t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量
⑩
1,475.10
1,472.00
t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑪
333.19
332.00
t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫
1,475.10
1,472.00
t

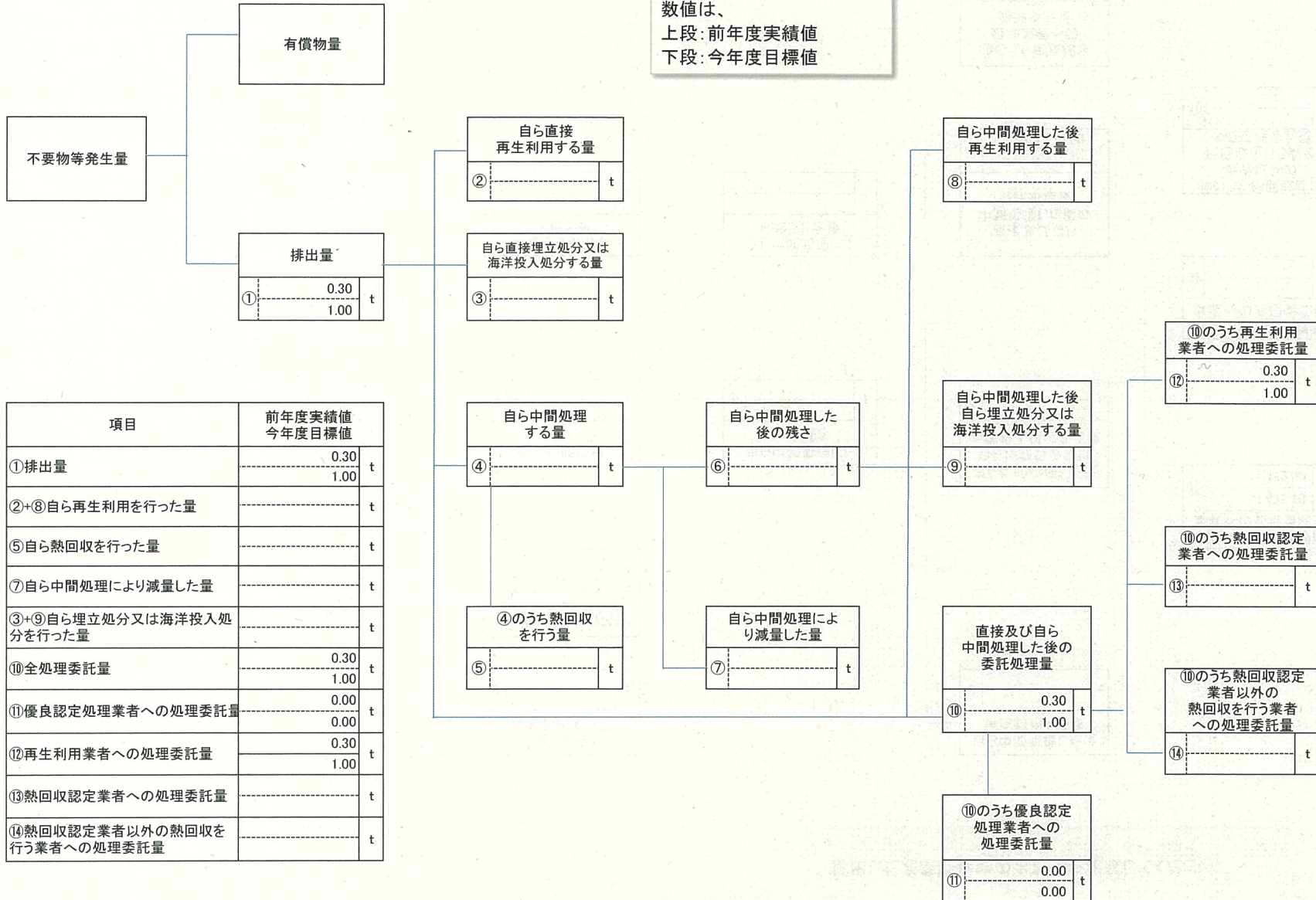
⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑬
t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑭
t



(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

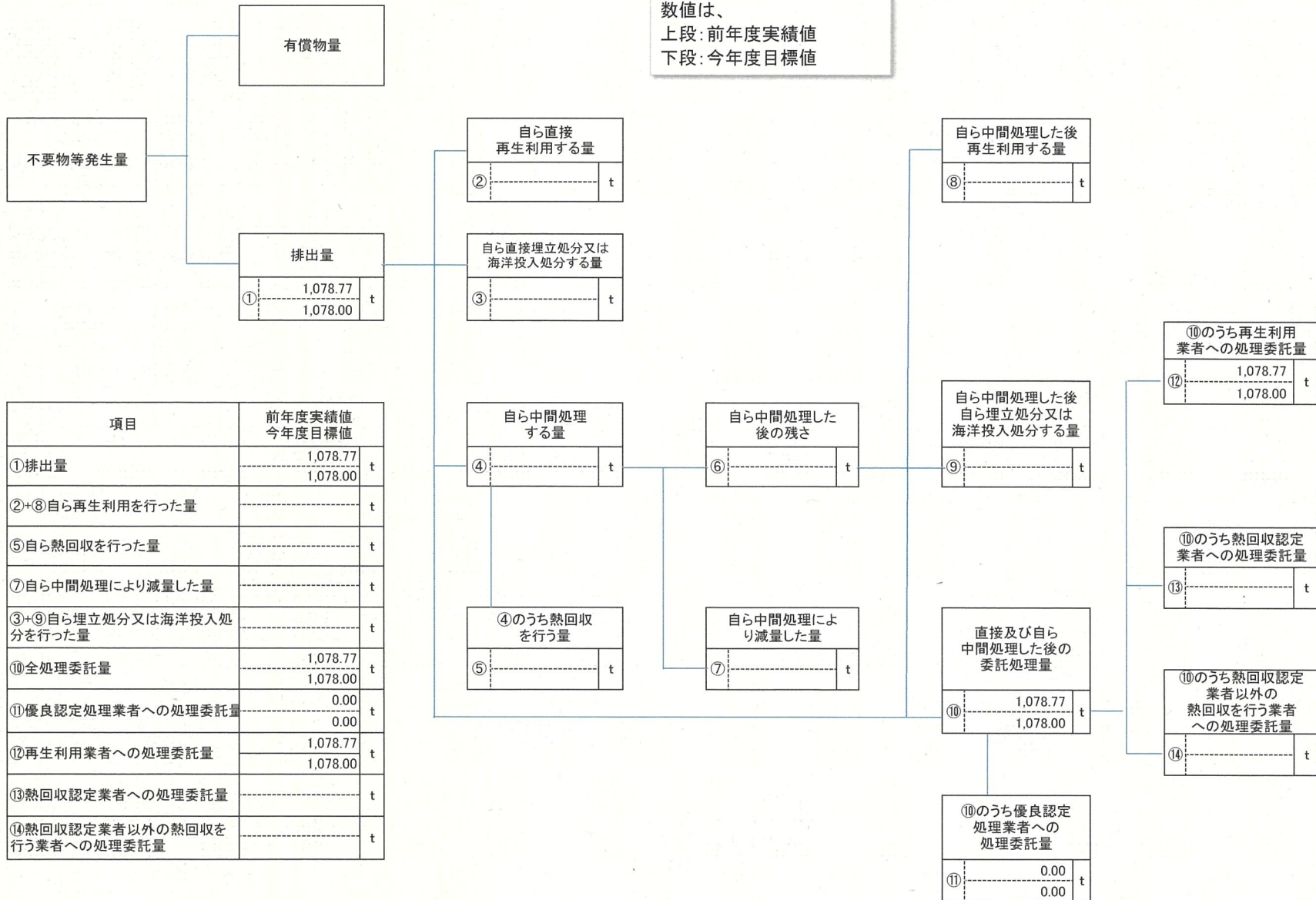
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値





(産業廃棄物の種類: がれき類)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



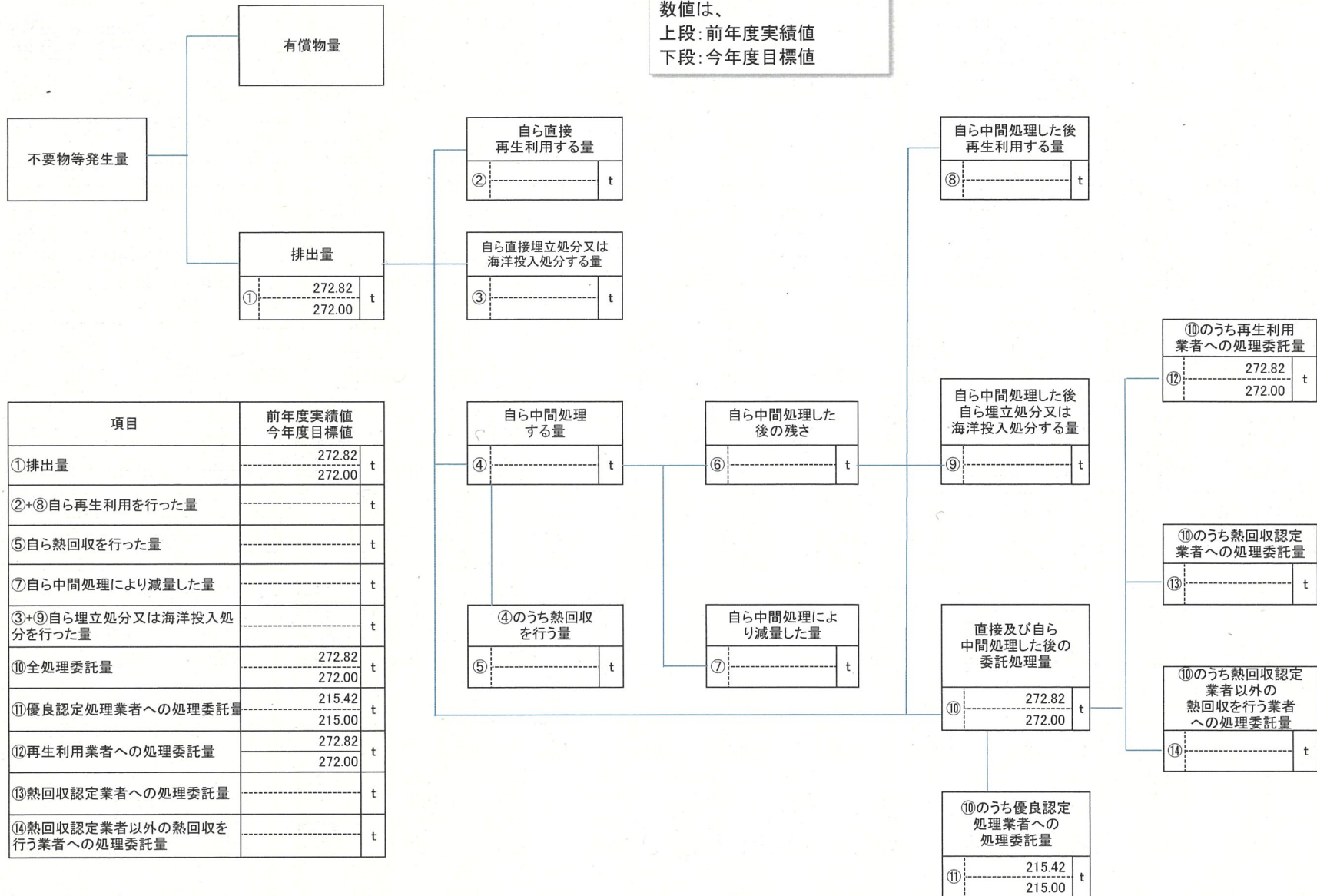


項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	40.48	t
	40.00	
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	40.48	t
	40.00	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40.48	t
	40.00	
⑫再生利用業者への処理委託量	40.48	t
	40.00	
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t



(産業廃棄物の種類: 金属くず)

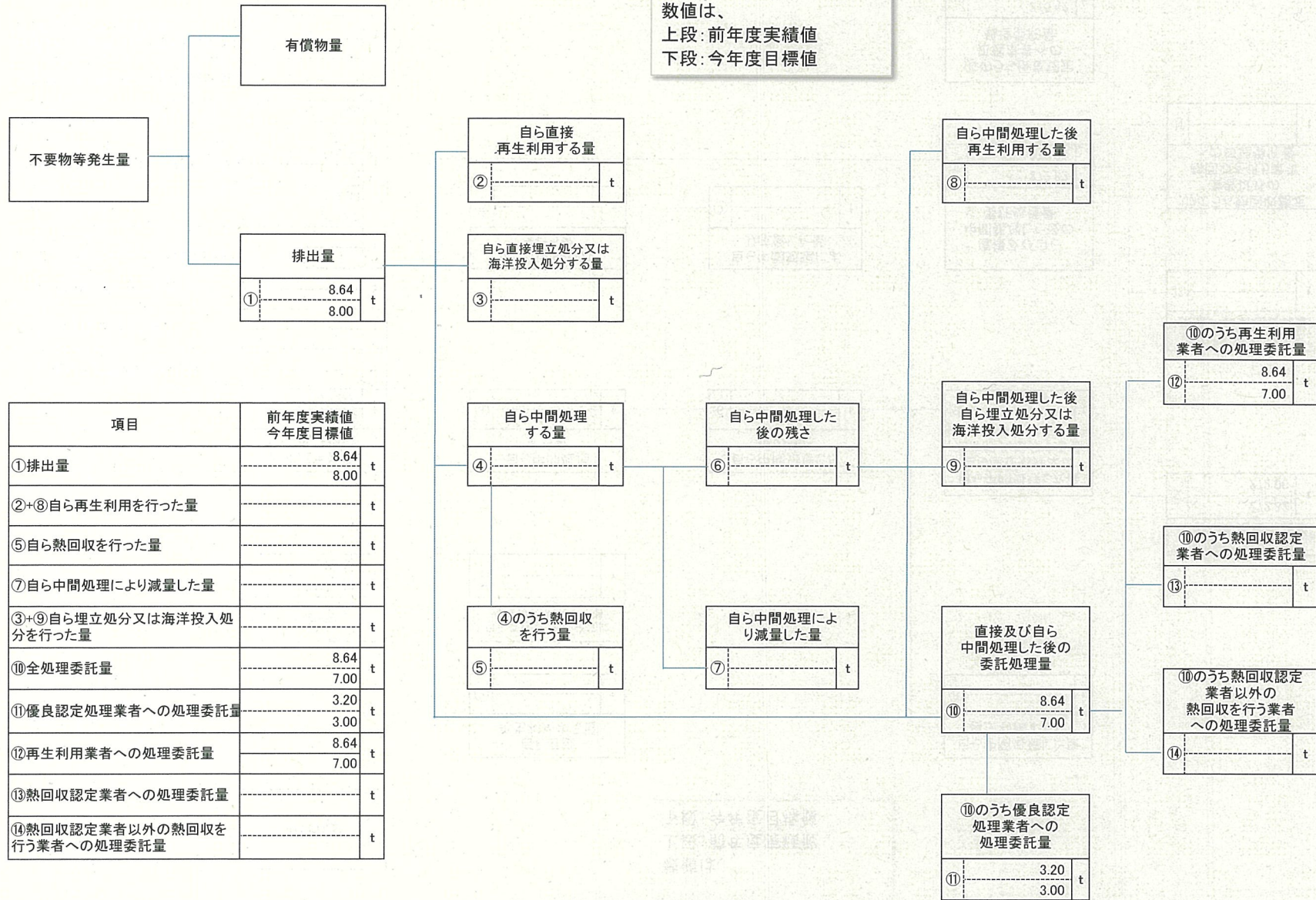
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値





(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

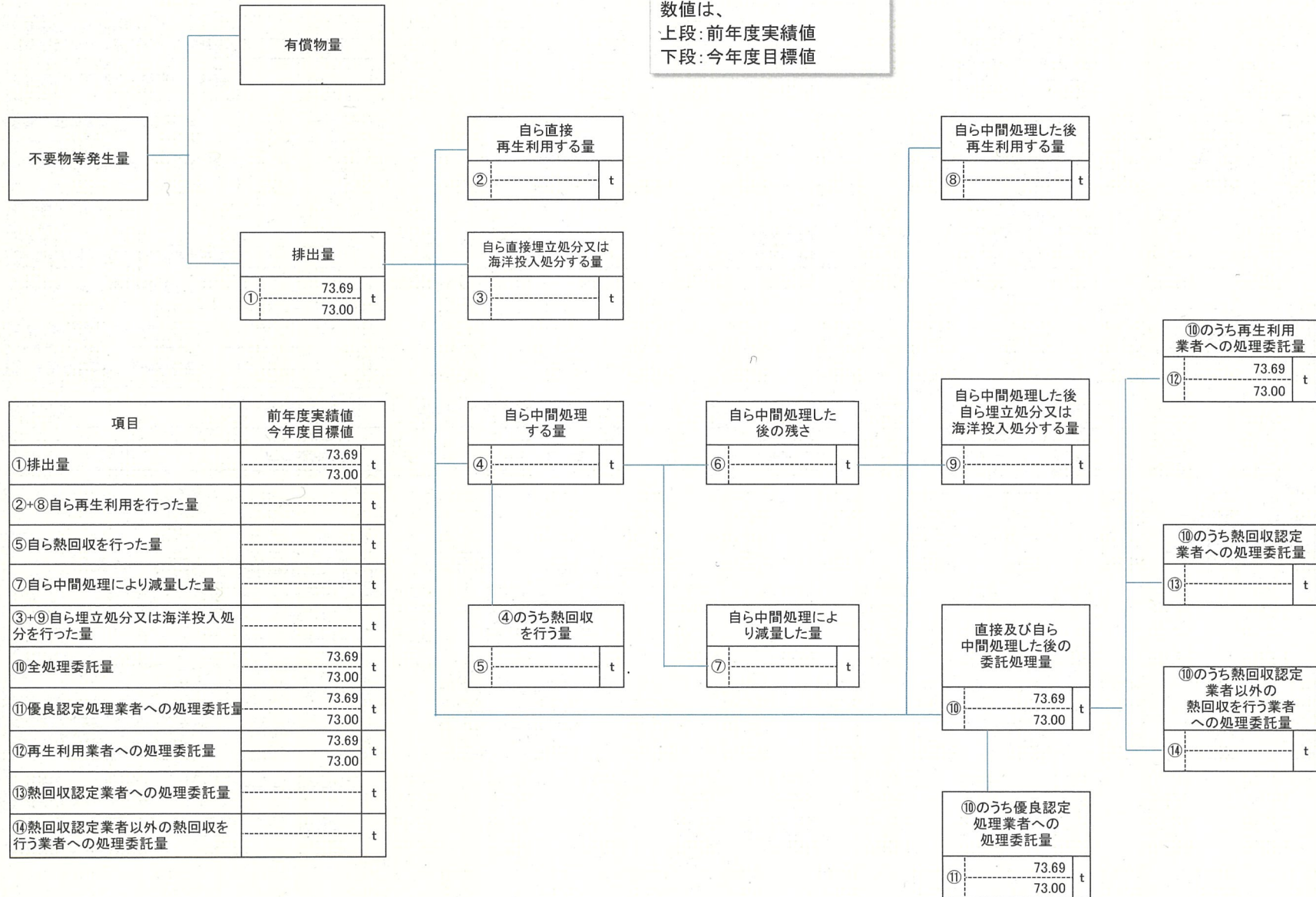
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値





(産業廃棄物の種類: 廃電気機械器具 )

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値





(産業廃棄物の種類: 木くず)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

